

20 千羽海崖を望むみち

コースガイド

JR日和佐駅を出発点とし、そびえ立つ『日和佐城』を目指してゆるやかな遊歩道を上っていく。道中で美波町の街並みを見下ろすことができ、その中には二十三番札所『薬王寺』の姿も。山道に入ると高低差の激しい道のりが続き、いくつかある休憩所に立ち寄りながら進む。『千羽ヶ岳』付近には垂直に切り立った『千羽海崖』があり、展望所からははっきりと見ることができる。一番の難所は『嵐瀬休憩所』から『通岩休憩所』への上り。『千羽休憩所』を過ぎ、きつい道のりが終わると下りが続く。その後、白沢の田園の道を進むと、ゴールである山河内駅はもうすぐ。

距離	12.2 km	所要時間	6 時間
体力レベル	山道の登降に対応できる体力が必要。適切なペース配分で歩こう。	技術レベル	急な登降があり、坂道を上り下りできる技術が必要。
スタート地点までのアクセス	最寄り駅・バス停		
JR牟岐線『日和佐駅』へ。	◎START地点 鉄道 JR牟岐線『日和佐駅』からすぐ バス 徳島バス南部『日和佐駅前』から徒歩約1分 ◎GOAL地点 鉄道 JR牟岐線『山河内駅』からすぐ バス —		



20

首冠

千羽の国

四国のみち 徳島県HP

コース周辺の見どころ

MAP A 日和佐城



標高65mの城山に築かれた山城。東は海、北は日和佐川、西は入り江という天然の要塞だ。室町時代、日和佐の豪族・日和佐肥前守が、阿波侵入をもちろむ長宗我部軍を防ぐために築いたと伝えられている。

MAP B 爆弾投下跡



第二次世界大戦中の1945年8月、米軍戦闘機が水産高校を工場と間違えて50キロ爆弾を二発投下した。しかし、狙いが外れて一発が山中に落ちた。大きな穴が空き、長年の風雨により土砂が崩れて平地に。

踏破認定写真

撮影ポイント

踏破制度

通岩休憩所

MAP C 恵比須洞

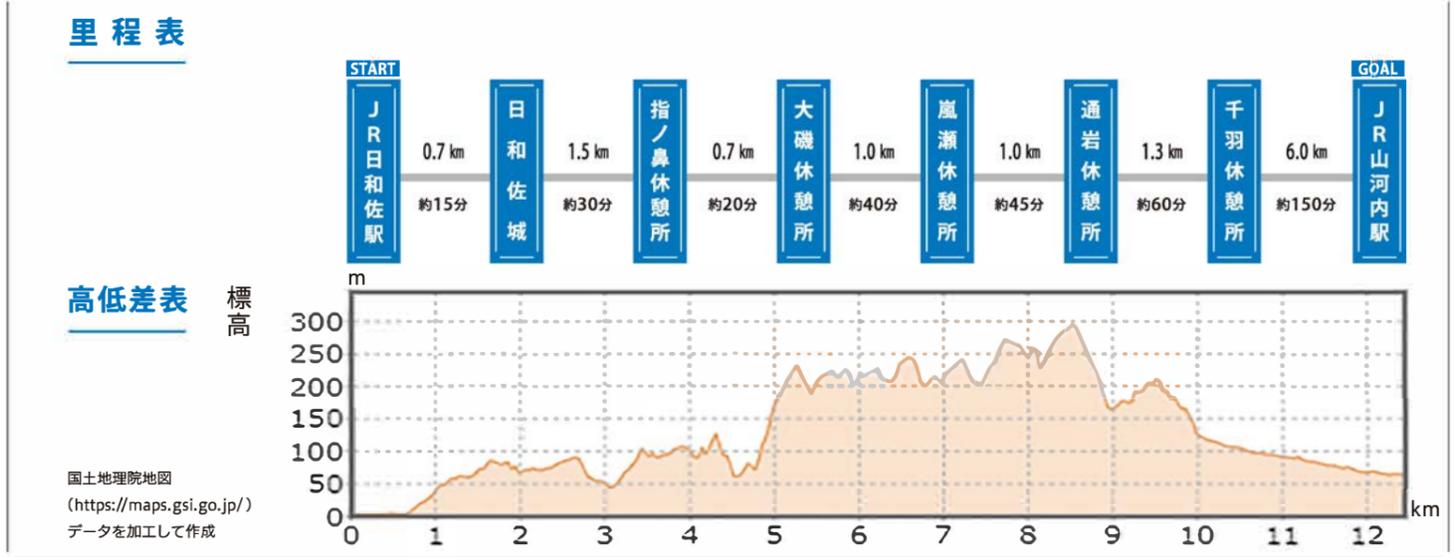


指ノ鼻休憩所に着くまでの道中で見られる。標高52mの岩山の内部が波濤で浸蝕洞となっており、岩山を巡る遊歩道が山頂部まで続いている。最頂部には神社があり、展望台からは大浜海岸や太平洋まで眺められる。

MAP D 千羽海崖



室戸阿南海岸国定公園特別保護地区であり、日和佐港の南西に続く断崖絶壁の海岸・千羽海崖（せんばかいがい）。約2kmにわたって高さ250mの切り立った岩壁が屏風を広げたようにそそり立っている。



ウォーキングガイド

- #### 歩くときの準備について
- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
 - ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
 - ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
 - ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。
- #### 野山を歩くときのマナー
- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
 - ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
 - ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263
 美波町 産業振興課 0884-77-3617

四国のみち 徳島県HP

コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。

制作 2023.3

四国のみち

距離 12.2km

20

千羽海崖を望むみち | 徳島県



A 日和佐城



B 爆弾投下跡

指ノ鼻休憩所

大磯休憩所

風瀬休憩所

通岩休憩所

D 千羽海崖

千羽休憩所

GOAL

JR山河内駅

START

JR日和佐駅

道の駅日和佐

1:25,000
0 250 500m

	四国のみち
	エスケープルート
	県道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは
四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国を一周することができる。

不測の事態や天候不順などで行程に無理が発生した場合は、無理をせずエスケープルートを選択すること。

この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。